

# 滋賀県医師臨床研修 病院ガイドブック

2024

水と人々の歴史。

滋賀でつなぐ未来への医療。

SHIGA

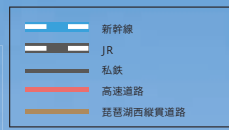
滋賀県  
医師臨床研修  
病院ガイドブック  
2024

市立大津市民病院	3
大津赤十字病院	5
滋賀医科大学医学部附属病院	7
JCHO 滋賀病院	9
淡海医療センター	11
滋賀県立総合病院	13
済生会滋賀県病院	15
公立甲賀病院	17
近江八幡市立総合医療センター	19
東近江総合医療センター	21
彦根市立病院	23
市立長浜病院	25
長浜赤十字病院	27
高島市民病院	29

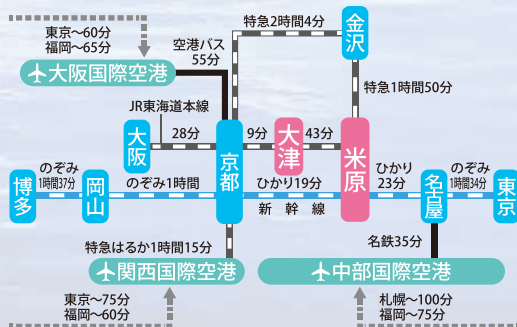
- ・各病院の医師数などのデータは、令和5年4月1日現在のものです。
- ・医師数は臨床研修医を除いた常勤医の人数、患者数は令和4年度の実績です。
- ・基本19領域診療科目は、各病院で取り扱う大まかな領域を目安として表示したものです。  
具体的な診療科は、各病院ホームページでご確認ください。
- ・研修プログラム等について、最新の情報は各臨床研修病院へご確認ください。

# 滋賀県臨床研修病院 MAP

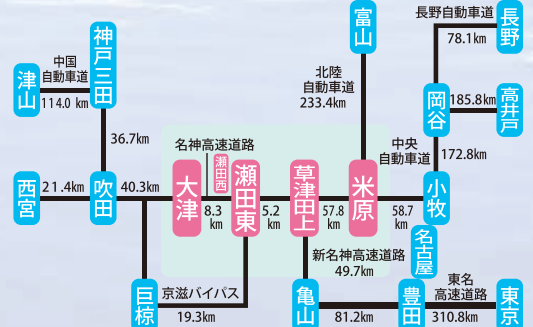
- 1 市立大津市民病院
- 2 大津赤十字病院
- 3 滋賀医科大学医学部附属病院
- 4 JCHO滋賀病院
- 5 淡海医療センター
- 6 滋賀県立総合病院
- 7 済生会滋賀県病院
- 8 公立甲賀病院
- 9 近江八幡市立総合医療センター
- 10 東近江総合医療センター
- 11 彦根市立病院
- 12 市立長浜病院
- 13 長浜赤十字病院
- 14 高島市民病院



## 公共機関利用の場合

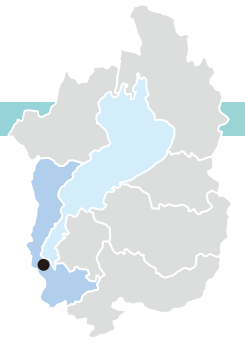


## 有料道路等利用の場合



※列車の所要時間は区間の最速です。

# 1 市立大津市民病院



所在地 大津市本宮二丁目9-9  
 開設者 理事長 河内明宏  
 開設年月日 昭和12年4月1日  
 病院長 日野明彦

<b>病床数</b> <b>401床</b>	<b>外来患者数</b> <b>744人</b> <small>(1日平均)</small>	<b>入院患者数</b> <b>274人</b> <small>(1日平均)</small>
<b>医師数</b> <b>88人</b> <small>男性62人 女性26人</small>	<b>指導医数</b> <b>35人</b>	<b>臨床研修医数</b> <b>21人</b> <small>男性14人 女性7人</small>

## 基本19領域診療科目

内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科
脳神経外科	放射線科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	

## 病院の アピールポイント

### 院長 日野明彦

現代医療は細分化、専門化が進んでいますが、その一方で、一人一人の患者さんは実に多種多様な問題を抱えておられます。専門医が自分の専門領域だけに専念するような医療では、対応が難しくなっているのが実情です。しかも、実際の臨床には、教科書に書いてないことがたくさんあります。



研修医の皆さんは、いずれ各領域の専門医を目指されることが多いと思いますが、専門領域以外の医療をできるだけ広く体験することは、皆さんの未来に大きな意味があります。研修では、できるだけ多くの疾患に触れ、実践的な臨床技能を身につけていただきたいと思えます。当院の常勤医師は皆さんが安全に、かつ充実した研修生活を送られるよう、全力で支援いたします。

### 臨床研修センター長 城正泰

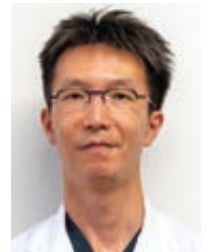
当院では多数のcommon diseaseはもとより、rare caseも経験できます。

発熱外来（感染症ER）、ICU診療も充実しており、救急疾患の初期対応から専門医療まで幅広く学べます。

臨床研修センターでは研修医個々の目標を尊重したプログラムを用意しており、後期研修への継続性を踏まえた指導・支援体制を目指しています。

2年間で医療人としての個々の役割（My goal）を見極め、あせらずMy goalを目指してください。熱意のある諸君を待っています。

“武士（ものゝふ）のやばせの舟は早けれど急がば廻れ瀬田の長橋”



### 研修医 徳永大空

大津市民病院の第一の魅力は、何でも相談できるアットホームな環境です！！

研修医同士の仲が良く、分からないことがあればすぐに相談できます。研修医ルームが独立しているので、リラックスして仲間と話す時間も確保できます。

上級医の先生方、医療スタッフの皆様も優しい方ばかりで、仕事に慣れていない私達のどんな質問にも、親切丁寧に答えて下さいます！実際、病院で迷子になったときに、何度助けていただいたか分かりません（笑）。

第二の魅力として、救急対応が十分に学べる環境が挙げられます。研修医がファーストタッチを行います、上級医の先生方はコンサルしやすく、充実したフィードバックがある為、大変勉強になります！

第三の魅力は福利厚生です。忙し過ぎることなく自分の時間を取ることができ、手当等も充実して好待遇なので、仕事のモチベーションがより一層高まります！加えて交通の便が良く、周囲にも色々な店があるので、充実した日常生活を過ごすことができます！

まだまだ書き足りませんが、このように大津市民病院には魅力がいっぱいあります！当院の研修に興味がある方はぜひ見学にいらして下さい！お会いできることを心待ちにしております！



Mygoalをしっかりと定めて取り組む  
研修医を求めます

「急がば回れ」各自が納得できる  
研修をすることができます

### 研修プログラムの目的、特徴

日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけることが目的です。将来の進路にとらわれず初期治療、救急医療などの基本的な知識・技術を修得すると共に、患者の立場に立って思いやりと気配りのできる医師が目標です。臨床研修は自己研鑽が基本です。知識や技能の修得はもちろんですが、人格の涵養に重点を置き、

医師としての人格教育を基本として、探究心と医の心をもつこと、社会人として尊敬される医師の養成を目指します。

2年間で全体的標準医療を修得するために、各診療科での研修を縦糸とするなら、E R型救急外来での研修を横糸と位置づけ、関係診療科・コメディカルとの連携、チーム医療への参加を学びます。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週		4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科		小児科	救急	精神科	産婦人科	外科	麻酔科
2 年目	8週	4週	44週					
	救急	地域医療	選択科目					

### 研修協力病院、研修協力施設

滋賀県立精神医療センター(精神科)、医療法人明和会琵琶湖病院(精神科)、京都府立医科大学附属病院(産婦人科・選択科)、京都大学医学部附属病院(産婦人科・選択科)、社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院(産婦人科) 滋賀医科大学医学部附属病院(選択科)、医療法人良善会ひかり病院、医療法人幸生会琵琶湖中央リハビリテーション病院、長浜市立湖北病院、ハッピーねもとクリニック、医療法人滋賀勤労者保健会坂本民主診療所、医療法人滋賀勤労者保健会膳所診療所、滝本医院、医療法人なかじま内科クリニック、医療法人西山医院、医療法人社団新緑会森井眼科医院、米村小児科、医療法人社団弓削メディカルクリニック、医療法人社団湖光会湖山クリニック(地域医療)

### 募集要項

- [応募資格] 医師国家試験合格予定者
- [募集人数] 9人
- [身分] 研修医(嘱託職員)
- [給与] 1年次:323,400円/月+賞与(年50万円)  
2年次:333,800円/月+賞与(年60万円)  
通勤手当、期末手当、時間外手当等の支給基準は別に定めるところによる。当直手当(1回:1万円)
- [社会保険] 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- [休暇] 年次有給休暇:年20日(4月1日から翌年3月31日まで)  
その他の休暇については別に定めるところによる

#### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和

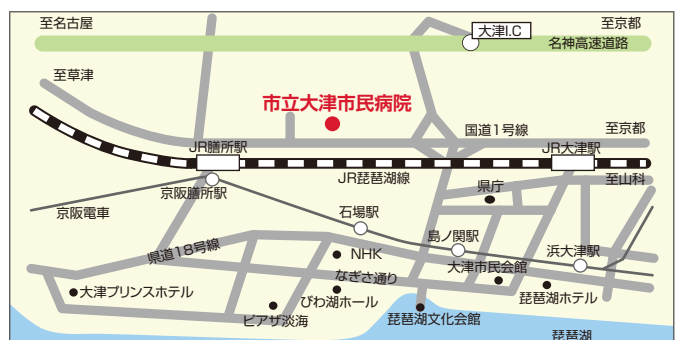
など



### 応募連絡先

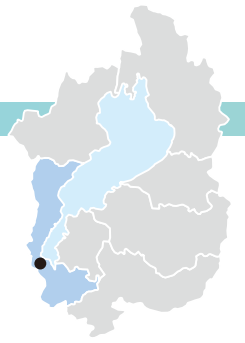
#### 市立大津市民病院

- [所在地] 大津市本宮二丁目9-9  
●JR膳所駅 徒歩10分  
●名神高速 大津IC 7分
- [担当部署] 臨床研修センター(事務局総務課)
- [電話] 077-526-8349
- [FAX] 077-521-5414
- [E-mail] och3510@och.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立近江療養センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

## 2 大津赤十字病院



所在地 大津市長等1丁目1-35  
 開設者 日本赤十字社  
 開設年月日 明治37年4月  
 病院長 小川 修

 <b>病床数</b> <b>684床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>1483人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>518人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>202人</b> <small>男性143人 女性59人</small>	 <b>指導医数</b> <b>79人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>30人</b> <small>男性18人 女性12人</small>

### 基本19領域診療科目

内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科
			リハビリテーション科	総合診療

### 病院の アピールポイント

院長 小川 修

本院は大津市(約34万人)の中心に位置し、創立119年を迎える地域の中核病院です。赤十字の理念として、救急医療・地域医療・災害医療等の面から地域に貢献することを掲げています。



特に「高度救命救急センター」は県内で唯一の指定を受け、年間の救急患者数は24,610人(一日平均67.4人)、救急車受入台数は7,312台(一日平均20台)と多くの患者さんを受け入れ、高度な医療水準のもと治療を行っており症例も多彩です。

また、「地域医療支援病院」として地域医療との連携を図りつつ、切れ目のない医療サービスの提供に努めています。災害医療では、「基幹災害拠点病院」として、滋賀県災害医療体制構築の一役を担っており、職員の災害に対する意識は高いものがあります。

このような特徴を持つ病院環境のもとで、多彩な症例を経験し、地域医療への貢献を身をもって感じられる研修ができます。

医師として、社会人としての第一歩を、地域医療の充実という大きな目標に向かって私たちと一緒に踏み出しましょう。

研修医 阪本 哲紀



当院では出身や志望科など背景も多様な研修医が、1学年約15人の同期と先輩、後輩と切磋琢磨しながら診療に取り組んでいます。

研修医同士のやり取りだけでなく、どの診療科にも若手の先生がおり、当院の初期研修後に後期研修医として残る先生方も多いので、小さなことでも質問しやすい恵まれた環境が一番の魅力です。

そのような環境の中で、豊富な疾患、症例を経験でき、重症患者から軽傷患者まで断らずに受け入れる高度救命救急センターで研修できるありがたみを日々実感しています。

また、当院は約680床の規模で、ほぼすべての診療科があり、日常診療ではcommon diseaseから稀な症例まで希望に応じて経験できます。

実際に、研修して1年になりますが、期待以上の充実した研修生活で、未熟ながらも自信と責任感を自然に育みながら、一日一日の成長を実感しています。

またメリハリもよく、休日には私は趣味のフルマラソン練習に励んでいます。

この魅力あふれる当院で、是非一緒に働いてみませんか？

実際の雰囲気や研修医からじゃないと聞きにくいことなどいろいろあると思うので、ぜひ見学をお待ちしています！

**積** 極性、協調性を持って共に学び  
向上していける研修医を求めます

**豊** 富な症例と指導医から総合力を持った  
専門医を目指すことができます

### 研修プログラムの目的、特徴

厚生労働省の基本指針に基づき、2年間に研修医が修得すべき目標を履修できるようにプログラム・カリキュラムを組んでいます。

また、高度救命救急センターを運営している特徴を生かして、救急医療について救急科にて12週間の研修を行うことができます。

《プログラム カリキュラムのコンセプト》

- ① 将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修できます。
- ② 研修目標修得のために弾力的な運用を行えるよう年度途中でも各診療部との調整を実施できます。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週				12週	12週
	内科 ※1※3				外科	救急
2 年目	8週	4週	4週	4週	32週	
	小児科 ※3	産婦人科	精神科	地域医療 ※3	選択 ※2	

※1 臨床研修開始前に医師・社会人として必要な知識・技術を身に付ける研修等を行うオリエンテーション期間あり。  
 ※2 麻酔科を選択科目とした場合のローテーション期間は12週とし、十分な研修期間を確保しています。  
 ※3 一般外来研修は、内科、小児科、地域医療研修の期間中に並行研修として行います。  
 ※ 表記スケジュールは一例です。

### 研修協力病院、研修協力施設

大津赤十字志賀病院、滋賀里病院

### 募集要項

- [応募資格] 大学の医学部又は医科大学を卒業見込の者で、医師免許取得見込の者
- [募集人数] 14人
- [選考方法] 面接試験、小論文、英語要約
- [身分] 研修医師(常勤嘱託医師・1年毎の契約更新方式)
- [待遇] 報酬 1年次:月額350,000円 2年次:月額360,000円
- [その他] 通勤手当、当直手当、時間外手当(所属長の命令によるもの)、賞与(年2回、各最高200,000円)  
社会保険制度加入(健康保険・厚生年金・雇用保険・労働保険等)、宿舍設備あり

#### 育児支援の取組

- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

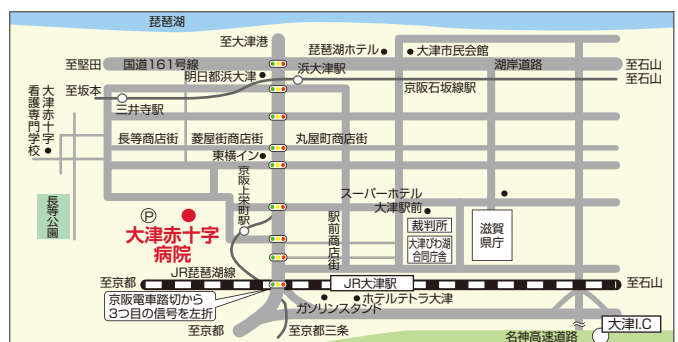
など



### 応募連絡先

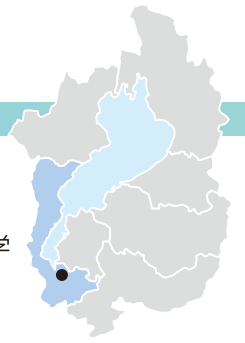
#### 大津赤十字病院

- [所在地] 大津市長等1丁目1-35
  - JR大津駅 徒歩10分
  - 京阪上栄駅 徒歩1分
  - 名神高速 大津IC 10分
- [担当部署] 人事課
- [電話] 077-522-4131
- [FAX] 077-525-8018
- [E-mail] jinji@otsu.jrc.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病院 大津赤十字
- ③ 滋賀病院 滋賀医科大学 附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 3 滋賀医科大学医学部附属病院



所在地 | 大津市瀬田月輪町  
 開設者 | 国立大学法人滋賀医科大学  
 開設年月日 | 昭和53年4月1日  
 病院長 | 田中 俊宏

 <b>病床数</b> <b>593床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>1292人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>485人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>441人</b> <small>男性325人 女性116人</small>	 <b>指導医数</b> <b>212人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>71人</b> <small>男性45人 女性26人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

医師臨床教育センター長 川崎 拓



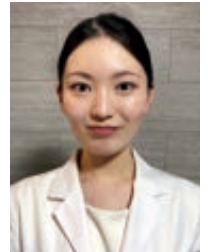
本院ではエキスパート医師から専攻医まで多数在籍しており、全診療科に教育医長を配置した責任ある指導体制のもと、身近なロールモデルの先生が多く在籍しているため、将来の目標となる医師像を必ず見つけられます。

初期研修では豊富な選択肢の5つの研修プログラムを用意しています。大学病院での研修が中心の標準型総合研修Aプロと周産・母子型Bプロでは、2年目に最大4ヵ月間希望する協力型病院（1ヵ月単位で最大4ヵ所選択）での京都・滋賀地区の院外研修が可能。1年目協力型病院Cプロでは、15ヵ所ある京都・滋賀の協力型病院の中から希望で選択し研修できます。その他、基礎研究医コース、地域医療重点コースも設置しています。

初期研修修了後の新専門医制度では、本院のほとんどの診療科は新専門医制度での基幹病院であるため、初期研修から後期研修へとシームレスな研修で専門医が取得できます。

豊富な選択肢の揃う当院で、研修しながら将来やりたいことを見つけませんか？研修病院は手技や技術を身につける所だけではなくありません。我々は2年間の初期研修だけでなく、研修修了後も皆さんが一人前になるまでサポートします。

研修医 牛田 望未



当院で研修を始めて1年。各診療科の先生方のもとで現場を経験し、そして目の前の担当患者さんから多くのことを学ばせていただいていることを実感する日々です。

学生時代、ちょうど研修病院を考えていた頃。産婦人科を志望していたため、志望科を中心に様々な診療科を回りたい気持ち強く最終的に大学病院を選択したことを覚えています。当院の研修では、診療科が揃っていて各分野のエキスパートの先生方のお話が伺えることはもちろん、指導体制が整っておりカンファレンスや勉強会を通じて経験症例を丁寧に学ぶことができ非常に充実した研修生活を送ることができています。また、2年目の選択期間が長く、自分の将来を考えながら院内外の研修を自由に組み合わせることができることも大きな魅力です。

そして同期の人数が多く興味の方向も多様で、それぞれの得意分野の知識を共有し刺激を受け、高め合える環境があります。今後それぞれの診療科の専門として進んでいく仲間との出会いは今後の貴重な財産です。

当院は自大学・他大学の垣根が非常に低く、非常に伸び伸びと研修できる環境であると思います。ぜひ一度見学にお越しください！

**誠**意と向上心を持ち、より高いレベルを目指す研修医を求めます

**救**急や総合診療もより充実、研修中に将来の専門を選択できます



## 研修プログラムの目的、特徴

滋賀医大病院での臨床研修は、患者さんから信頼される全人的医療を行うことができる医師を育てていくことです。このためには患者さんや指導医、上級医、同僚を含めた周囲の人々とのコミュニケーション能力が基本となります。

本院では、初期トレーニング段階でルールに慣れていくためのオリエンテーションや採血講習、BLSなど各種トレーニングコースを設定しています。プライマリ・ケアから3次救急まで、多角的な医療現場のニーズに対応可能な医師の育成に努めています。

☆プライマリケアから2次・3次救急にいたる幅広い実践研修

プログラム名	1年目	2年目	募集人数
Aプログラム	滋賀医大病院	滋賀医大病院40週(うち協力型病院で最大4ヵ月) 東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院から選択4週	21人
Bプログラム	滋賀医大病院	滋賀医大病院44週(うち協力型病院で最大4ヵ月)	4人
Cプログラム	協力型病院	滋賀医大病院	15人
※ 基礎研究医プログラム	滋賀医大病院	滋賀医大病院20~28週(うち協力型病院で最大2ヵ月) 基礎医学研修16~24週	1人
※ 地域医療重点プログラム	滋賀医大病院	滋賀医大病院28週、地域医療研修12週 東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院から選択4週	1人

※令和4年度から新設。通常の選考スケジュールとは異なるため、HPを要確認。

## 研修スケジュール例 (Aプログラム)

年目	24週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1年目	内科 (うち内科1つは総合診療3週を含む)	外科	救急	救急or 麻酔科	小児科	産婦人科	精神科
2年目	32週 自由選択科 (最大4ヵ月間、協力型病院にて院外研修可能)			救急	地域研修	外科 (選択)	東近江or JCHO滋賀or 公立甲賀

Bプログラム(周産母子研修コース)では産婦人科・小児科合計12週必修とする。

Cプログラム(1年目協力型病院研修コース)では1年目を協力型病院15ヵ所より選択し、研修する。

## 研修協力病院、研修協力施設

(研修協力病院)市立大津市民病院、淡海医療センター、JCHO滋賀病院、滋賀県立総合病院、公立甲賀病院、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、彦根市立病院、市立長浜病院、長浜赤十字病院、市立野洲病院、日野記念病院、湖東記念病院、済生会滋賀県病院、医仁会武田総合病院、宇治徳洲会病院、京都医療センター、京都岡本記念病院、鹿児島市立病院等  
(研修協力施設)弓削メディカルクリニック、永源寺診療所、きづきクリニック、その他草津・粟東地域を中心に多くの診療所等

## 募集要項

- 【応募資格】 医師臨床研修マッチングに参加し、第118回医師国家試験を受験予定の者
- 【募集人数】 Aプログラム21人、Bプログラム4人、Cプログラム15人、基礎研究医プログラム1名、地域医療重点プログラム(地域枠学生対象)\*1名 計42名  
\*地域医療重点プログラムは、Aプログラムの定員に組み込まれています。  
\*基礎研究医プログラム及び地域医療重点プログラムは通常の選考スケジュールとは異なりますので、詳細は滋賀医科大学医師臨床教育センターのHPを必ずご確認ください。
- 【試験日程】 【第1回】令和5年8月2日(水) 【第2回】令和5年8月25日(金)
- 【選考方法】 筆記試験 学外応募者は引き続き面接
- 【処遇】 基本給 月額9,100円、臨床研修手当 月額162,000円(副直手当1回1万円、月4回限度含む。)  
\*月収約344,000円、年収約4,128,000円
- 【宿 舎】 有 13戸
- 【その他】 通勤手当、健康保険、厚生年金保険

## 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正職員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



## 応募連絡先

### 滋賀医科大学医学部附属病院

- 【所在地】 大津市瀬田月輪町  
●JR瀬田駅、南草津駅 バス15分  
●新名神高速 草津上IC 5分
- 【担当部署】 医師臨床教育センター病院研修係 奥村
- 【電 話】 077-548-2436
- 【F A X】 077-548-2832
- 【E-mail】 kensyu@belle.shiga-med.ac.jp



① 市立大津市民病院

② 大病津赤十字院

③ 滋賀医大病院

④ JCHO滋賀病院

⑤ 淡海医療センター

⑥ 滋賀県立総合病院

⑦ 済生会滋賀県病院

⑧ 公立甲賀病院

⑨ 近江八幡市立総合医療センター

⑩ 東近江総合医療センター

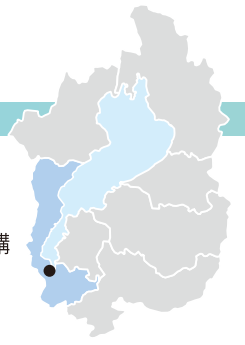
⑪ 彦根市立病院

⑫ 市立長浜病院

⑬ 長浜赤十字病院

⑭ 高島市民病院

# 4 JCHO滋賀病院



所在地 大津市富士見台16-1  
 開設者 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO)  
 開設年月日 平成26年4月1日  
 病院長 来見 良誠

 <b>病床数</b> <b>325床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>554人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>179人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>47人</b> <small>男性33人 女性14人</small>	 <b>指導医数</b> <b>21人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>4人</b> <small>男性4人 女性0人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

院長 来見 良誠



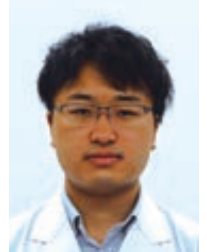
JCHO滋賀病院は大津市の南部に位置する中規模総合病院(325床)です。最寄りの石山駅は京都からJRで15分の距離にあり、国道1号線にもほぼ面しており、交通の便の良い場所に立地しています。JCHO滋賀病院の設立母体は「独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)」で、文字通り地域医療の機能を推進するための医療活動を展開しています。

滋賀医大の地域医療教育研究拠点になっており、地域医療を担う医師の教育や養成、そしてそのための研究をしています。滋賀医大と教育スタッフを共有しており、新専門医制度では互いに連携し合います。

JCHO滋賀病院の特長は、大規模な病院にない小回りの利く医療(例えば1日で必要な検査がほとんどでき、その日のうちに診断が付き治療を開始できる)で、迅速で効率のよい医療を実践していきます。また、近隣の大病院にない特殊な機能(健診センター、介護老人保健施設、透析・血液浄化センター、地域包括ケア病棟)を有し、包括的な医療を提供しています。

毎日開催されている総合診療カンファレンスでは、すべての診療科の症例が提示されるため、自然に総合力が養われ、いつの間にか総合力のある専門医になれる仕組みを構築しています。

研修医 山口 淳史



当院に入院/搬送される患者はどの診療科に進んでも必ず対処できなくてはならない急性虫垂炎や心筋梗塞などのcommon diseaseが多く、それらを全領域科の上級医、研修医、学生が参加するカンファレンスで毎朝とりあげます。月単位で新しい診療科に移る研修医ですが、どの科のローテ中でも知識が特定の科に偏らない2年間になるでしょう。

研修医は基本的に各科1人であるため症例や手技の取り合いは全くなく、質問しやすい雰囲気の中で丁寧に指導していただけるため、研修半年目ですが縫合やCV挿入なども自信をもって行えるようになりました。

また当院の研修医は1学年に上限2名ですが、毎月滋賀医大からの研修医と学生が多い時では10名ほど配属されるため、横のつながりも沢山できる環境となっています。

**総** 合力を身につけたいと思うまじめで積極的な研修医を求めます

**毎** 日の総合診療カンファレンスで自然と総合力を養うことができます

### 研修プログラムの目的、特徴

滋賀県大津医療圏の中規模総合病院であるJCHO滋賀病院を基幹とし、滋賀医科大学と滋賀県内の診療所の協力を得て実施するcommon disease中心の実戦的な初期臨床研修プログラムです。具体的には、JCHO滋賀病院、滋賀医科大学附属病院、協力診療所およびJCHO滋賀病院健診センター・附属介護老人保健施設などでのシーム

レスな研修を通じ、医師としての基本的な資質と診療能力を習得し、予防・診療・介護の面から患者を全人的に見ることができ、地域医療に貢献できる総合力のある医師を育てるプログラムです。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週			4週	4週	12週	4週	4週
	内科			麻酔科	救急科	外科	小児科	産婦人科
2 年目	4週	4週	4~8週	36~40週				
	精神科	救急科	一般外来・在宅診療	選択科目(各2~6週) ※希望により、期間の変更や様々な組み合わせが可能。				

※一般外来の研修を行う診療科は、内科(総合診療含む)ならびに地域医療です。地域医療の期間は、協力施設のうち1施設を選択し、研修を行います。

※選択科目は、循環器内科、腎臓・糖尿病・内分泌内科、消化器血液内科、脳神経内科、呼吸器科、総合診療科、救急科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、麻酔科、健康管理センター、附属介護老人保健施設等

### 研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院小児科・産婦人科・精神科・救急科、弓削メディカルクリニック、浅井東診療所、きづきクリニック

### 募集要項

- [応募資格] 令和6年3月に大学の医学部を卒業見込者で医師免許所得見込の者または医師免許既所得者
- [募集人数] 2人
- [身分] 任期付常勤医師
- [給与] 年収約5,700,000円(基本給、地域手当、医師手当含む)、当直、通勤手当等
- [保険] 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金

### 育児支援の取組

- ・院内保育
  - ・短時間勤務制度
  - ・時間外勤務免除、緩和
  - ・宿直の免除、緩和
  - ・日直の免除、緩和
- など



### 応募連絡先

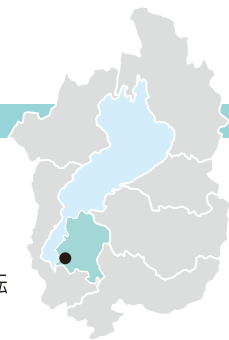
#### JCHO滋賀病院

- [所在地] 大津市富士見台16-1
  - JR石山駅 バス7分
  - 名神高速 大津IC 13分
- [担当部署] 総務企画課
- [電話] 077-537-3101
- [FAX] 077-534-0566
- [E-mail] soumu@shiga.jcho.go.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合診療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 5 淡海医療センター



所在地 草津市矢橋町1660  
 開設者 社会医療法人 誠光会  
 開設年月日 平成9年5月、平成18年4月増床移転  
 病院長 古家 大祐

 <b>病床数</b> <b>420床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>565人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>336人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>100人</b> <small>男性75人 女性15人</small>	 <b>指導医数</b> <b>41人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>19人</b> <small>男性14人 女性5人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

### 臨床研修センター長 水本 明良

淡海医療センターは琵琶湖を臨む滋賀県南部の草津市に立地し、湖南地区の医療圏を担う中核病院です。

当病院では、common diseaseからrare diseaseまで様々な疾患を多数経験することができます。多くの救急患者が受診し、初期治療から急性期の患者を対象とした医療を中心としています。

さらに、社会復帰へ向けての回復期病棟を有し、同じ敷地内では慢性期の治療病院（淡海ふれあい病院）を有しており、患者の治療開始から社会復帰までの流れを経験することができます。

初期臨床研修は、医師としてのみならず、一個人としての社会性の確立にも大きな影響を与えます。我々の病院では、研修医の自主性を重んじ、1年時には基本的な知識や技術を広く習得してもらい、2年時には半年間の自由選択期間を設け、希望する分野での研修を行ってもらいます。

「こんな医師に診てもらいたい！」

研修医のみならず我々の目指す医師像です。

- ・笑顔やあいさつなど、一般人として社会性を持った人であること。
  - ・医師としての適切な態度、専門技術や知識を有すること。
  - ・研修会や勉強会へ積極的に参加すること。
  - ・患者のことを、家族の一員として思えること。
- 我々と共に、医師として人として学んでいきましょう。



### 研修医 北尾 遼平

当院の臨床研修の特徴は、豊富な症例や手技と充実した教育環境が整っていることです。初期研修医は毎朝、ERカンファレンスから業務が始まります。夜間救急患者の診療内容を指導医や他の研修医とディスカッションすることで、経験した症例に対する知識を深めていきます。隔週で「研修医セミナー」という研修医が主体で行う症例検討会もあり、プレゼンテーションスキルや診断技量の向上に努めています。その他にも、模型を使った手技の練習会や製薬会社による輸液や薬の使い方などの勉強会なども行っています。



また、幅広い診療科があり、そのほとんどの科を研修することが可能です。研修中はやらせて下さいと言えば、勉強し練習すればほとんどの手技をさせて貰え、どの科の先生やコメディカルの方にも相談しやすい環境が整っています。

さらに、上級医や研修担当の先生が研修医に寄り添ってどのような研修にしてほしいかを聞いてくださり、これからは初期研修はブラッシュアップされると思います。

是非一度、この病院を見ていただきたいと思います。

**患**者・職員に思いやりを持ち  
チーム医療ができる研修医を求めます

**豊**富な症例と自由な選択、充実した  
教育環境で研修することができます

### 研修プログラムの目的、特徴

当院ではcommon diseaseの診断治療と救急患者への対応能力を養うことを目的に、「研修医とともに作りあげるプログラム」を目指してきました。

平成23年度からの研修制度では、まさに我々が実践してきた研修医自らが自主的にプログラムを作り上げる制度に変更されつつあります。

プログラムは毎月行われる臨床研修評価判定会議で研修医ごとに見直しが行われます。特に、研修医は診療科での到達度や指導医評価をもとに、自ら

プログラム変更を申し出ることも可能です。2年目からは将来専攻する診療科に特化したプログラム選択も認めています。研修医の1日は朝8時10分からのE Rカンファレンスに始まります。各診療科で行われるカンファレンスとともに、毎月行われる研修医主体の研修セミナー、毎週の医局ミーティング、院内勉強会、講演会、CPCや学部主催のMMCなどを通じて、より幅の広い知識と経験を得ることができます。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週		12週	4週	4週	4週
	内科		救急部門 (麻酔科含む)	外科	産婦人科	小児科
2 年目	4週	4週	50~52週			
	地域医療	精神科	選択科			

### 研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、湖南病院、淡海ふれあい病院、きづきクリニック 他

### 募集要項

- [応募資格] 医師国家試験に合格したもの、もしくは合格見込みのもの
- [募集人数] 9人
- [試験日程] 第1回 令和5年8月5日(土)  
第2回 令和5年8月19日(土)  
第3回 令和5年9月2日(土)
- [身分] 常勤職員
- [給与] 1年次430,000円/月 2年次450,000円/月 ※税込み
- [保険] 公的医療保険 有
- [宿舎] 有

#### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



### 応募連絡先

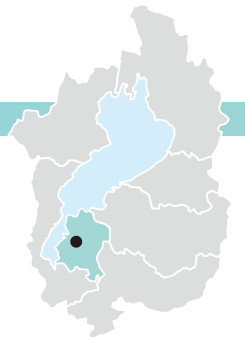
#### 淡海医療センター

- [所在地] 草津市矢橋町1660
  - JR南草津駅 バス10分
  - 新名神高速 草津田上IC 18分
  - 名神高速 瀬田西IC 15分
- [担当部署] 臨床研修センター
- [電話] 077-563-8866
- [FAX] 077-565-9313
- [E-mail] kensyui@seikoukai-sc.or.jp



- ① 市民病院 市立大津
- ② 病 大津赤十字 院 院
- ③ ⑤ 滋賀医大 附 淡海医療 センター
- ④ 滋賀病院 JCHO
- ⑥ 滋賀県立 総合病院
- ⑦ 済生会 病院 院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市 立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合 医療センター
- ⑪ 彦根市 立 病院
- ⑫ 市立長浜 病院
- ⑬ 長浜赤十字 病院
- ⑭ 高島市 立 市民病院

# 6 滋賀県立総合病院



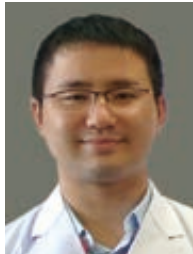
所在地 守山市守山五丁目4-30  
 開設者 滋賀県知事  
 開設年月日 昭和45年12月1日  
 病院長 足立 壯一

<b>病床数</b> <b>535床</b>	<b>外来患者数</b> <b>960人</b> <small>(1日平均)</small>	<b>入院患者数</b> <b>364人</b> <small>(1日平均)</small>
<b>医師数</b> <b>135人</b> <small>男性104人 女性31人</small>	<b>指導医数</b> <b>53人</b>	<b>臨床研修医数</b> <b>20人</b> <small>男性10人 女性10人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

研修医 長谷川 和哉



当院は診療科が非常に豊富で、内科系ではほぼ全ての診療科が揃っているほか、外科系やマイナー科も幅広く標榜していることが特徴です。1年目には標榜している全ての内科をローテートすることができるほか、2年目には8ヶ月の自由選択期間があるため将来目指している診療科が決まっている人も、研修を通じて決めようと思っている人もどちらにもおすすめできます。また、指導医の先生方も優しく非常に教育的で、どんな些細な疑問点にも丁寧に指導してもらえますし将来のことなども色々と相談に乗ってもらえます。

「百聞は一見にしかず」だと思います。見学はいつでも受け付けていますので、少しでも興味を持たれた方は是非一度当院にお越しください、お待ちしております。

研修医 小谷 美奈



まだ研修が始まったばかりですが、スタッフの方々がとても優しく、施設も綺麗で、診療科も一通りそろっており幅広く学ぶことができる環境であり、改めてこの病院を研修先を選んで良かったと感じています。当院では1つ1つの症例を丁寧に学ぶことができ、仕事のオンオフがはっきりしているところが特徴的です。分からないことなどは2年目の先生や上級医の先生に何でも聞くことができ、広々とした医局には研修医用のデスクなどもあるので、働きやすい環境が整っていると思います。是非研修病院の候補として当院を検討してくださいと嬉しいです。

よりよい医療福祉を迫及し実践へと  
発展できる方を求めます

がん・血管病を中心とした高度医療の  
基礎を習得することができます

## 研修プログラムの目的、特徴

時代の要請に応じたプライマリ・ケアの充実ならびに全人的に患者を診療することのできる臨床研修プログラムであると同時に、専門医資格取得に向け、また後期研修に向けた効率的な初期研修を追求しています。

【幅広く研修可能な内科】内科研修は、30週間中に循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、免疫内科をローテートします。循環器内科、消化器内科では専門科診療のみならず総合内科的な研修も行い、基本手技の習熟も目的としています。

【充実した麻酔科研修】救急医療実施に必須の手技は、十分な経験数を確保できます。救急症例も、優先して処置にあたっ

もらいます。

【協力施設との連携】施設の性質上、小児科、精神科、産婦人科、地域医療は協力病院もしくは協力施設での研修となります。複数の施設を経験できるのも魅力です。

【がん関連特有の診療科も選択可能】緩和ケア科や放射線治療科のほか、病理診断科を選択することも可能です。各科指導医による専門性の高い研修が経験できます。

【標準コース】標準的なプログラム内容で、2年目の選択を36週間としていますので、1年目の研修を経験しながら、自分にあった進路を見定めていただけます。

## 研修スケジュール例

1 年目	30週				8週	4週	6週	4週
	内科系				救急 (うち麻酔科4週)	麻酔科	自由選択	外科系
2 年目	4週	4週	4週	4週	36週			
	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	自由選択			

※1年目、2年目とも時間外救急外来対応を行います。

## 研修協力病院、研修協力施設

(産婦人科)大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、近江八幡市立総合医療センター、長浜赤十字病院(小児科)、滋賀県立小児保健医療センター、滋賀医科大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、近江八幡市立総合医療センター、済生会守山市民病院、(精神科)滋賀県立精神医療センター、湖南病院、豊郷病院、(救急)済生会滋賀県病院、(地域医療)ヴォーリス記念病院、東近江市永源寺診療所、地域包括ケアセンターいぶき、守山野洲医師会加入の診療所など

## 募集要項

- [募集人数] 10人
- [試験日程] 7月22日(土)と8月26日(土)の2日程から選択
- [選考方法] 面接、筆記試験
- [身分] 研修医(会計年度任用職員)
- [給与] 1年目おおよその月額303,000円  
2年目 おおよその月額312,000円  
期末・通勤・時間外手当別途支給  
※なお、法令改正により身分等が変更となる可能性があります。
- [社会保険] 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- [住居] 単身者用宿舎あり

### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・配偶者出産休暇、部分休業
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



## 応募連絡先

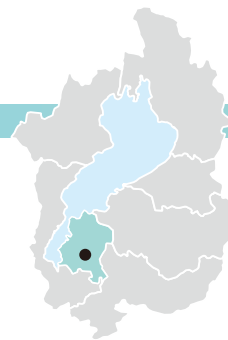
### 滋賀県立総合病院

- [所在地] 守山市守山五丁目4-30
  - JR守山駅 バス10分
  - 粟東IC 15分
- [担当部署] 総務課総務係
- [電話] 077-582-8034
- [FAX] 077-582-5931
- [E-mail] resi-center@mdc.med.shiga-pref.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病院 大津赤十字
- ③ 滋賀医科大学 附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立 総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合 医療センター
- ⑪ 彦根市立 病院
- ⑫ 市立長浜 病院
- ⑬ 長浜赤十字 病院
- ⑭ 高島市民 病院

# 7 済生会滋賀県病院



所在地 栗東市大橋二丁目4-1  
 開設者 社会福祉法人恩賜財団  
 済生会支部滋賀県済生会  
 開設年月日 大正13年10月  
 病院長 三木 恒治

<b>病床数</b> <b>393床</b>	<b>外来患者数</b> <b>1080人</b> <small>(1日平均)</small>	<b>入院患者数</b> <b>351人</b> <small>(1日平均)</small>
<b>医師数</b> <b>129人</b> <small>男性97人 女性32人</small>	<b>指導医数</b> <b>48人</b>	<b>臨床研修医数</b> <b>21人</b> <small>男性15人 女性6人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					放射線科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

初期臨床研修プログラム責任者・臨床研修センター長  
 救命救急センター副センター長・循環器内科主任部長  
**倉田 博之**



当院では、年間約7,000件の救急車搬送に対応する3次救命救急センター(ドクターカー・京滋ドクターヘリなどのプレホスピタルを含む)での日当直経験が積めます。これにより初療対応を学び、総合内科、外科、小児科外来でプライマリーケア能力を高めることができます。また、各科の豊富な症例数・手術件数を経験でき、ダビンチなどの高度先端医療にも触れることができます。さらに日当直で経験した症例に対するERカンファレンス、スキルスラボでの各種実習、多職種チーム活動、臨床倫理・退院調整カンファレンスなどに参加して、初期対応、チーム医療、コミュニケーション法、リスクマネジメント、臨床倫理まで視野に入れた臨床問題解決能力を養えます。

当院における研修は確かにハードです。しかし研修医が2年間で身に付けておくべきプライマリーケアを高いレベルで習熟したい、そのためには多少の苦労はいとわかない、といった方には満足できる研修病院であると考えます。(健康・ワークライフバランスを考慮して当直明けは午前10時に帰宅)

医学生の皆様、当院で厳しい中にも実り多い研修医生活をエンジョイしませんか。是非一度 病院見学へ!お待ちしております。

研修医 島 孝允



当院の臨床研修には、年間約7,000件の救急車搬送に対応するための救命救急センターを始めとした、急性期病院で学ぶべき医師としての素養を身につける環境が整っております。

ドクターヘリやドクターカーの配置があり、病院前診療に携わりながら滋賀県の救急医療スタッフの一員として働きます。

日当直で経験する全症例を研修医がファーストタッチし、患者の症状や病態に合わせ、検査オーダーから治療開始までを積極的にマネジメントします。すぐに上級医にコンサルトできる環境が整っており、このような経験を圧倒的な件数を武器に自身の診療能力として伸ばしていくことができると思います。さらに、経験症例を毎朝カンファレンスで上級医と共有することで、自身の診療を振り返ることができる機会も多いです。

また、救急外来業務以外にも内科外科を問わず、症例数が豊富であり、手術件数や内視鏡、カテーテル検査数も滋賀県トップレベルであり、将来の診療科を偏りなくローテートすることができます。我々研修医が同期やコメディカルの方々と仲良く、時に切磋琢磨して働いている姿を見に、ぜひ一度当院の見学にお越しください。



**初**期から「即、活躍したい」  
熱意ある研修医を求めます

**豊**富な症例が経験でき、質の高い  
チーム医療が学べます

### 研修プログラムの目的、特徴

救命救急センターを中心としたプライマリ・ケアの基礎臨床知識を学ぶこと、豊富な臨床症例をもとに迅速かつ適切な判断力と診断能力を養えるようにします。

医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず医学や医療の役割を認識し、日常、一般的に遭遇する疾患を適切に対応する基本的能力を身につけます。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週		12週	8週	8週
	内科		救急	麻酔科	産婦人科・小児科・精神科・外科から2科目 1カ月ずつ
2 年目	8週	4週	40週		
	産婦人科・小児科・精神科・外科から2科目1カ月ずつ (前年度に未履修の科)	地域医療	選択科目		

※ローテート順は変更可能。  
 ※救急12週間必修のうち4週間は救急外来(当直業務)で研修とする。  
 ※一般外来は総合内科(週2回)、外科(週1回)、小児科(週1回)においてそれぞれ並行研修を行い、さらに上限を3週間として地域医療研修時に経験する。

### 研修協力病院、研修協力施設

京都府立医科大学附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、一般社団法人水口病院、滋賀県立総合病院、済生会守山市民病院、栗東市内9施設、草津市内10施設、その他(守山・湖南)2施設、他滋賀県済生会関連施設

### 募集要項

- [応募資格] 令和5年度医師臨床研修マッチングに参加し、第118回医師国家試験を受験予定の者
- [募集人数] 10人
- [試験日程] 8月に2回実施予定
- [選考方法] 面接、小論文、筆記試験
- [身分] 常時勤務の準職員
- [給与] 1年次 年額約570万円(月額約44万円)  
2年次 年額約680万円(月額約53万円)  
※諸手当(時間外手当、日当直手当、住宅手当、賞与等)含む
- [社会保険] 健康保険、厚生年金保険、介護保険、雇用保険、労災保険

#### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



### 応募連絡先

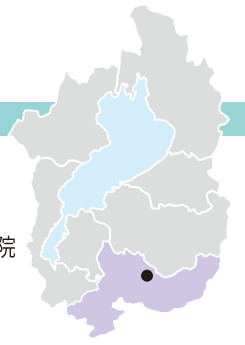
#### 済生会滋賀県病院

- [所在地] 栗東市大橋二丁目4-1
  - JR手原駅 徒歩約15分
  - 名神高速 栗東IC 1分
- [担当部署] 事務部人事課
- [電話] 077-552-1221
- [FAX] 077-553-8259
- [E-mail] kensyu@saiseikai-shiga.jp





- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字院
- ③ 滋賀医大附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合 医療センター
- ⑪ 彦根市立 病院
- ⑫ 市立長浜 病院
- ⑬ 長浜赤十字 病院
- ⑭ 高島市民 病院

# 8 公立甲賀病院



所在地 甲賀市水口町松尾1256  
 開設者 地方独立行政法人公立甲賀病院  
 開設年月日 昭和14年6月  
 病院長 辻川 知之

 <b>病床数</b> <b>413床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>849人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>271人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>82人</b> <small>男性65人 女性17人</small>	 <b>指導医数</b> <b>27人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>11人</b> <small>男性8人 女性3人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

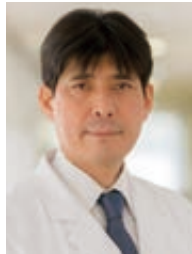
研修プログラム責任者 小河 秀郎

公立甲賀病院は、甲賀保健医療圏の基幹病院として、疾病予防、急性期、回復期、慢性期、在宅医療にいたる全ての医療を担っています。

現代では、専門医であっても慢性期にも対応できる総合的臨床力が求められます。当院は急性期病棟に加え、回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、訪問診療部も含まれたケアミックス病院です。健診センターも有し、予防医学にも注力しています。当院で学ぶ研修医の皆さんは、救急・急性期医療に加え、疾病予防、リハビリテーション、在宅医療、終末期医療など、全人的医療をシームレスに学ぶことができます。2019年には滋賀医科大学と地域医療教育研究拠点の協定を結び、全職員が初期臨床研修の充実に取り組んでいます。

医局は、院長室、医師席、研修医室をワンフロアに集結し、研修医の皆さんは、どの科のどの指導医とも気軽に相談でき、診療科の垣根を超えたアットホームな雰囲気の中で臨床を学ぶことができます。各専門科のスタッフが充実し、個々の専門的知識を2年間で存分に学べる体制が整っています。

歴史ある甲賀地域で、楽しく充実した研修生活をぜひ一緒に楽しみましょう。



研修医 稲村 則基

当院の臨床研修の特徴として、①病床数に対して研修医が比較的少ないため十分な経験を積めること、②救急症例が多彩で軽症から重症まで経験できること、③教育熱心な雰囲気が根付いていること、の3点が挙げられます。

当院の研修医枠は1年目6名・2年目5名(令和5年度)と同規模の研修病院と比較すると少なめで、一人当たり十分な症例や手技を経験することができ、研修医同士の仲も良く、日々協力しながら研修を行っています。当院は甲賀保健医療圏の基幹病院として、救急では地域のあらゆる症例を断らずに受け入れています。そのため研修医は軽症から重症まで多彩な症例を偏りなく経験でき、どこに行っても通用する総合力が身につきます。また、教育熱心な雰囲気が根付いており、各科の上級医にはいつでも気軽に相談できますし、滋賀医科大学の学生実習を受け入れているため研修医が学生に手技を教える機会もあります。指導医のレクチャーが週1回、研修医どうしでの症例検討会が週2回程度あり、経験しっぱなしではなく振り返りの機会も豊富です。

さらに、研修プログラムは2年目からはほぼ制約無く自由に選択することができ、個々の目的や希望に対応した研修が可能です。また給与や福利厚生面も恵まれていて、公私ともに充実した研修生活を送ることができます。臨床研修先として自信を持っておすすめできる病院です。あなたも医師としてのキャリアを公立甲賀病院で始めませんか。



**自**発的に学び行動し、チーム医療に  
貢献できる研修医

**自**由度の高いプログラムで総合的  
臨床力を育む

### 研修プログラムの目的、特徴

本プログラムは、甲賀保健医療圏の中核病院である公立甲賀病院を基幹型臨床研修病院とした病院群から構成されています。地域の保健・医療・福祉・介護へのかかわりを通じて、総合的な臨床能力を有し、かつ、医の倫理・生命の倫理を尊重し、ヒューマニズムに基づいた全人的な医療を担える医師の育成を目指します。

プログラムの特徴としては、1年次に放射線科研修を組み込み、早い時期から画像診断に親しむことで総合的な臨床診断力が身につくことを目指しています。2年次には、希望の選択研修期間を7カ月とし、最長2カ月間滋賀医大での研修も選択可能です。総合病院である強みを生かして、将来専門とする診療科や関連する診療科を幅広く選択することで将来にわたって役立つ専門分野の知識と技術が早期から習得可能です。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週					4週	4週	8週	4週	4週
	内科					放射線科	精神科	外科	小児科	救急外来
2 年目	4週	4週	4週	4週	4週	28週				
	産婦人科	救急外来	救急外来	地域医療	内科	希望選択科（1カ月毎に設定可、最長2カ月滋賀医大での研修も可）				

### 研修協力病院、研修協力施設

水口病院(精神科)、滋賀医科大学医学部附属病院、甲賀市立信楽中央病院(地域医療)、地域包括ケアセンターいぶき(地域医療)、野村産婦人科(産科)、甲賀保健所、弓削クリニック

### 募集要項

- [応募資格] 大学の医学部を卒業見込みの者  
(医師国家試験を受験するもの)
- [募集人数] 5人
- [給与] 1年目:月額350,000円+賞与3カ月+通勤手当+宿日直手当+時間外手当+休日勤務手当+住居手当  
2年目:月額400,000円+同上
- [有給休暇] 1年目10日間、2年目11日間
- [社会保険] 雇用保険、健康保険、厚生年金

### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和

など



### 応募連絡先

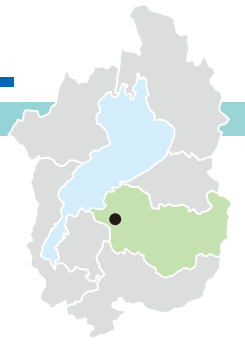
#### 公立甲賀病院

- [所在地] 甲賀市水口町松尾1256  
● JR 貴生川駅 バス20分  
● 名神高速 粟東湖南IC 25分
- [担当部署] 人事課
- [電話] 0748-62-0234
- [FAX] 0748-63-0588
- [E-mail] khjinji27@kohka-hp.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字
- ③ 滋賀医大附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 9 近江八幡市立総合医療センター



所在地 近江八幡市土田町1379  
 開設者 近江八幡市長  
 開設年月日 平成18年10月1日  
 病院長 白山 武司

 <b>病床数</b> <b>407床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>884人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>325人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>104人</b> <small>男性81人 女性23人</small>	 <b>指導医数</b> <b>49人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>21人</b> <small>男性12人 女性9人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					放射線科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

プログラム責任者 津田 知樹

当院は東近江医療圏の基幹病院であり、救命救急センター、周産期母子医療センターなど、様々な機能を有する病院です。したがって同医療圏内で発生する救急症例の50%以上が搬送され、重症例については、ほぼ全症例が搬送されます。都市部のように複数施設への分散がなく集中するので、症例数が豊富で希少な疾患も多く経験できます。



初期臨床研修における必修分野は、ほとんどが院内で修了することが可能であり、その他についても、希望に合わせて他施設を選択することができます。さらに2022年度からは、沖縄での離島研修が選択可能となりました。

当院研修の特徴は、手技や手術などに積極的に関わっていく“参加型”研修です。医局は各診療科が1ヶ所に集まった総合医局で、研修医の先生方の机も同医局内です。そのため各診療科間の隔たりがなく、様々な診療科の先生方と顔見知りとなるため、他科へのコンサルトも気軽にできる雰囲気も大きな特徴の一つです。その結果、2022年度は初期臨床研修修了者8名中6名、2021年度は7名中2名が継続して、当院での専門医研修を選択して頂いています。

最後になりましたが、先生方と一緒に働き・勉強できることを、心より楽しみにしております！

研修医 大胡 滴

当院は救命救急センターや周産期母子医療センターを有する東近江医療圏の最後の砦です。医療圏内で発生したほぼ全ての重症症例が当院に搬送される他、common diseaseはもちろん、診断の難しい希少疾患なども含む地域のあらゆる患者さんの診療にあたります。



その恵まれた環境を背景に、非常に教育熱心な上級医たちによる手厚い指導の下、様々な手技や治療など豊富な経験を積めることが、当院の初期研修の特徴です。新しく当院に来られた先生が驚かれるほど、職種間・診療科間の垣根が低く、患者さんの診療やケアに困ったとき気軽に相談できることも、当院の強みだと感じています。救急外来では患者さんの重症度に関わらず、「常に上級医に相談できる状況で」研修医がfirst touchを行います。

また院内での研修だけでなく、家庭医養成で名高い弓削メディカルクリニックや、沖縄県伊江島の伊江村立診療所などで地域医療を学ぶチャンスがあることも、当院プログラムの大きな魅力です。

決して楽な研修生活ではないかもしれませんが、その先に必ず確かな成長があるはずで、一生懸命に努力できる環境が、ここにはあります。一緒に研修できることを楽しみにしています！

**協** 調性に富みチーム医療を目指す、やる気のある研修医を求めます

**た** くさんの先輩たちに囲まれながらアットホームな研修ができます

### 研修プログラムの目的、特徴

将来、どの診療科に進もうと、必ず必要となる総合的、包括的な診療の習得を目的とした研修です。2020年度から始まった新しい臨床研修カリキュラムに沿って、1年目に必須科目を広く研修しプライマリ・ケアを習得、2年目にはその知識を基に地域医療や精神科などの研修を行います。また救急医療は東近江医療圏の救命救急センターでの研修で、1年

目に8週間のローテート、2年間には後輩への指導も行いつつ、救急総合診療に重点を置いた研修が特徴です。また滋賀県4つの周産期母子医療センターの1つで、市中病院としては珍しく小児外科もあり、成育系の包括的な研修が可能なおとも特徴の1つです。

### 研修スケジュール例

1 年目	24週			8週	4~8週	4~8週	4週
	内科(総合内科、血液内科、代謝・内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科)			救急医療	必修科目(外科)	麻酔科※	自由選択
2 年目	12週	4週	4週	32週			
	必修科目(小児科、産婦人科、精神科)	救急医療	地域医療	自由選択(希望する診療科)			

※内科は、総合内科(呼吸器内科、膠原病内科)、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、代謝・内分泌内科、血液内科、脳神経内科とします。  
 ※外科は、消化器外科のほか、整形外科や脳外科などの診療科も研修可能。  
 ※麻酔科を院内必修科目としています。  
 ※2年目は1年目に回れなかった必修科目と希望する診療科をローテートし、外来診療も並行研修。

### 研修協力病院、研修協力施設

京都府立医科大学附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立総合病院、滋賀八幡病院(精神科)、国立病院機構東近江総合医療センター、ヴォーリス記念病院、弓削メディカルクリニック、近江八幡市蒲生郡、東近江医師会診療所、伊江村立診療所(沖縄)

### 募集要項

- [応募資格] 医師免許取得見込(既卒)者で医師国家試験受験予定者
- [募集人数] 8人
- [試験日程] 第1日程令和5年8月5日(土)、第2日程令和5年8月19日(土)
- [選考方法] 書類審査・作文・面接
- [処遇] (身分) 会計年度任用職員  
 (賃金等) 1年目347,100円 2年目358,700円  
 (手当・賞与別) 通勤手当、住居手当、宿日直手当、時間外手当等  
 (休暇) 有給休暇、特別休暇有

#### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度(要相談)
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など

### 応募連絡先

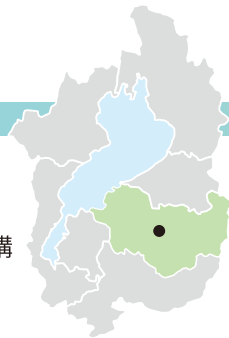
#### 近江八幡市立総合医療センター

- [所在地] 近江八幡市土田町1379  
 ● JR近江八幡駅 徒歩20分  
 ● 名神高速 竜王IC 15分
- [担当部署] 総務課
- [電話] 0748-33-3151
- [FAX] 0748-33-4877
- [E-mail] ocmc-ikyoku@kenkou1.com



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀県立附属病院
- ④ JCHO 滋賀県立病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 10 東近江総合医療センター



所在地 東近江市五智町255  
 開設者 独立行政法人国立病院機構  
 開設年月日 平成16年4月1日  
 病院長 野崎和彦

 <b>病床数</b> <b>320床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>433人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>177人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>53人</b> <small>男性41人 女性12人</small>	 <b>指導医数</b> <b>31人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>8人</b> <small>男性7人 女性1人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

研修責任者 内科診療部長 杉本 俊郎

1.当院の特徴の一つは、内科系や救急の専門医が集まる毎朝カンファレンスです。各診療科でのカンファと異なり、全科の医師が知っておくべき重要な疾患や薬剤の副作用などの情報をリアルタイムに共有することができます。また、専門外であっても夜間や休日に遭遇するcommon diseaseは一定レベルの診療ができるように、カンファレンス中に指導医のアドバイスを受けながら診断能力と治療内容を統一し、診療の均てん化に役立っています。初期研修医はcommon diseaseを繰り返し学び、かつ司会からの質問に答えることで、基礎診療能力を高めることができるシステムです。さらに、カンファレンス中に症例報告を行うことで、スライド作成やプレゼン能力も鍛えられます。



2.アメニティーの特徴として、初期研修医は全員が集まる研修医談話室だけでなく、官舎とは別に病院管理棟内にある研修医用個室(机とシャワー、ベッドが完備)が供与されます。自分の空いた時間で勉強や休憩を取り、快適な研修生活が過ごせるようになっています。

3.滋賀県随一のスキルスラボを有しています。心音・呼吸音聴診、腹部超音波、内視鏡操作、IVR手技など多くのシミュレーターを備えており、何時でもトレーニングすることが可能です。

このように、ハード・ソフト面との良好な研修環境を整えています。当院は滋賀医科大学の地域医療教育の拠点の一つでもあり、医学生の通年実習を通年で行っております。院内の上級医全員が医学教育に熟知していますので安心して研修してください。

研修医 堺本 瑞穂

研修医二年目になり、PHSに出る時「学生堺本です!」と言ってしまい恥ずかしい思いをすることもなくなりました。医師としての生活にもだんだん慣れてきたように思います。



当院のアピールポイントは朝カンファに代表される充実した教育環境と、各科の垣根の低さです。

朝カンファでは前日の入院、当直の症例について内科系・救急科・放射線科等の医師が検討します。プレゼンの準備は勉強になりますし、よくわからないことについては様々な先生のご助言を頂くことができます。

各科の垣根が低く、困ったときはどの科の先生方も快く相談にのって下さいます。また専攻医の先生方との距離も近く、時々研修医室に遊びに来てくれます。楽しく雑談をしつつ、質問にも気軽に応じて頂けます。一人で静かに過ごしたい時は、院内に個室があるのでそこでゆっくり休むこともできます。

私は関西出身ではなく初めは馴染めるのかすごく不安でしたが、同期や職員の皆さんにあたたかく迎えて頂き、楽しく研修しています。病院近くに寮もありますし、遠方からの引越しても安心です。

色々と言いましたが、自分の目で確かめてもらうのが一番だと思います!見学お待ちしております!

**積**極的に行動し、総合的な能力を身に付けたい研修医を求めます

**毎**日のカンファを通して、救急と総合診療の土台を築くことができます

### 研修プログラムの目的、特徴

超高齢化と少子化が顕著となるこれからの社会においては、医師と患者の良好なコミュニケーションに基づいた全人的で幅広い診療が求められます。医師の最も基礎となる当院の初期研修では、医療面接、身体診察、典型例の画像診断、基本的手技などが偏ることなく一定レベル以上に到達することを目的として、1年目は内科系診療科を中心とした研修により問診や診察を繰り返してトレーニングし、2年

目は外科系や麻酔科・救急を回することで個人の能力をレベルアップするプログラムとしています。また、2年間を通じて全内科医・救急医合同の毎朝カンファレンスに出席し症例のプレゼンや議論に参加することで、様々な年齢の医師や医学生とも良好な人間関係を築きながら、プロフェッショナルリズムの素養を身に着けます。

### 研修スケジュール例

1年目	6週	6週	6週	6週	6週	6週	6週	6週
	糖尿病・内分泌内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	総合内科	外科	産婦人科	小児科
2年目	6週	6週	6週	6週	4週	12週	6週	6週
	自由選択1	地域医療	外科系	自由選択2	麻酔科	救急	自由選択3	精神科

※自由選択は6週間×3回でまとめても可能。

### 研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀八幡病院、近江八幡市立総合医療センター、東近江市永源寺診療所、弓削メディカルクリニック、あいとう診療所

### 募集要項

- [応募資格] 令和6年3月に大学の医学部を卒業見込で医師免許取得見込の者・または医師免許既取得者
- [募集人数] 4人  
(定数調整により変更する場合があります)
- [身分] 期間職員
- [給与] 約410,000円 賞与年2回
- [保険] 共済組合、雇用保険、労災保険、厚生年金
- [宿舎] 有り(個室ワンルームタイプ、家電完備)

### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など



### 応募連絡先

#### 東近江総合医療センター

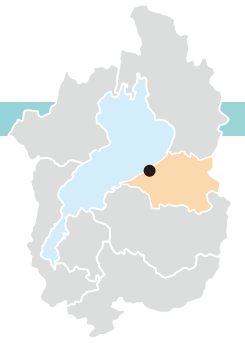
- [所在地] 東近江市五智町255
  - 近江鉄道八日市駅 バス15分
  - 名神高速 八日市IC 2分

- [担当部署] 管理課
- [電話] 0748-22-3030
- [FAX] 0748-23-3383
- [E-mail] 402-higashiomikensyu@mail.hosp.go.lg.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 11 彦根市立病院



所在地 彦根市八坂町1882  
 開設者 彦根市長  
 開設年月日 1891年  
 病院長 中野 顯

 <b>病床数</b> <b>438床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>879人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>325人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>66人</b> <small>男性59人 女性7人</small>	 <b>指導医数</b> <b>40人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>8人</b> <small>男性6人 女性2人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					放射線科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

臨床教育センター長 神田 健志

“きめ細かで、程よいサイズ感の臨床研修”、当院での研修医たちの日々はそんな言葉がぴったりです。よくある疾患から特殊な疾患まで、幅広く経験できる豊富な症例数も当院の特徴ですが、その一方で指導医とディスカッションする時間も存分に持つことができ、バランスの良い臨床経験を積むことが可能です。サポートする指導医は、研修医からの疑問や意見を待ち構えている熱いドクターばかりです。垣根を感じることは全くありません。



学術面・知識面でのサポートも充実しています。各科別のカンファレンスに加え、横断的にさまざまな職種を含む、医療連携チームのカンファレンスも連日実施しています。特に月末の木曜日、定期的に研修医主体の勉強会を実施しています。ここでは、皆で症例を共有するとともに、臨床研究を主題とした医学論文の基本的な読み方を、じっくり学ぶことができます。働きやすく居心地のよい本院で有意義な研修を積んでもらうために、公私ともに細やかなサポートを惜しみません。ぜひ、彦根市立病院でいっしょに学びませんか？

研修医 高橋 滉平

彦根市立病院の外観は、琵琶湖のほとりに停泊する船です。乗組員は一人ひとりの「道」を背負った職員で、彦根の明日へ向かって進んでおります。



彦根に来て1年がたち、眼光鋭く至らないところを指摘して下さった言葉、先生方の患者さんへのやさしいまなざしに感動したことをたくさん思い出します。

私は現在、緩和ケア科で、患者さんの表現できない痛みにかんじて気づくか、学んでおります。また、指導医の先生方から、日常診療業務はもとより希望に応じて学会発表まで個別に指導いただいております。当院は救急搬送を断らない方針を掲げており、一年次の研修医は希望日に半直に入りながら幅広い救急疾患を経験させていただいております。

悩んだときは病棟8階から外をみて、夕日の光のカーテンがかかった湖一面に雲の絵具で描かれた景色に想いをはせ、落ち込んだときは羊とふれあい、彼らの力強さをもらっています。

熱心に指導いただいたK先生には、知識はもちろん、これからの医師人生で人として大切なことを教えていただきました。それぞれが恩師を見つけ、暖かくみまもられながら、各々の力を伸ばしております。

今日も研修医室のドアの内からは賑やかな笑い声がこぼれています。



“一流の医療人”を目指すチャレンジ魂を持った研修医を求めます

3年目から一人立ちできるような実践力を習得することができます

### 研修プログラムの目的、特徴

本プログラムは、医師として基本的な診療能力を身につけチーム医療を実践しながら患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を習得することを目的としています。患者のみならず、スタッフとのコミュニケーションを十分に図り、安全性、信頼性の高い良質な医療を行う基本姿勢を重視します。さら

に、医師として常に医学知識技能の習得に努めるよう心掛けることも重要です。

院内の各診療科のみならず、地域の病院、診療所、保健所とも協力し、プライマリケアをはじめとした様々な基本診療能力を効率よく身につけられるように、本プログラムは企画されています。

### 研修スケジュール例

1 年目	9週		8週		8週		4週		4週		4週		4週		4週		3週		
	循環器内科		消化器内科		内科系 ※1		外科		外科系 ※2		麻酔科		救急		産婦人科		小児科		選択科目
2 年目	4週		4週		8週		36週												
	地域医療		精神科		救急		選択科目 ※3												

※1 血液内科、糖尿病代謝内科、呼吸器内科、腫瘍内科から2科を選択(各4週)

※2 外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、形成外科から1科を選択

※3 自由に選択可能。 ※ローテーションは順不同。

### 研修協力病院、研修協力施設

公益財団法人豊郷病院(精神科)、滋賀医科大学医学部附属病院(希望選択科)、京都大学医学部附属病院、福井大学医学部附属病院(希望選択科)、近江八幡市立総合医療センター(産婦人科)、長浜赤十字病院(産婦人科、精神科)、徳田医院、松木診療所、つじ泌尿器科クリニック、いけだ内科医院(地域医療)

### 募集要項

- [募集人数] 4人
- [試験日程] 令和5年8月(予定)
- [選考方法] 面接
- [処遇] (身 分) 会計年度任用職員(常勤)  
(給 与) 1年目 月額 約54万円(年額 約650万円)  
2年目 月額 約59万円(年額 約730万円)  
※年額ベースで計算し、月額に換算。  
※各種手当(時間外手当、宿日直手当、期末勤勉手当等)を含む。  
(社会保険) 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険  
(休 暇) 有給休暇、夏季休暇 あり  
(宿 舎) 単身用宿舎有り(月額15,000円)

### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間勤務制度
- ・時間外勤務免除、緩和(要相談)
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など

### 応募連絡先

#### 彦根市立病院

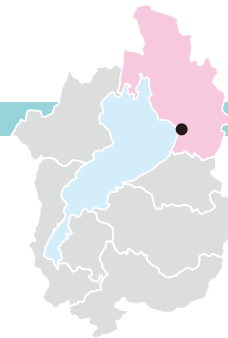
- [所在地] 彦根市八坂町1882
- J R 南彦根駅 バス約10分
- J R 彦根駅 バス約20分
- 名神高速 彦根IC 20分

- [担当部署] 職員課
- [電 話] 0749-22-6050
- [F A X] 0749-26-0754
- [E-mail] syokuinka@municipal-hp.hikone.shiga.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病院赤十字
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 12 市立長浜病院



所在地 長浜市大戌亥町313  
 開設者 長浜市長  
 開設年月日 昭和19年6月25日  
 病院長 高折 恭一

<b>病床数</b> <b>565床</b>	<b>外来患者数</b> <b>864人</b> <small>(1日平均)</small>	<b>入院患者数</b> <b>319人</b> <small>(1日平均)</small>
<b>医師数</b> <b>88人</b> <small>男性79人 女性9人</small>	<b>指導医数</b> <b>39人</b>	<b>臨床研修医数</b> <b>12人</b> <small>男性11人 女性1人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					放射線科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

院長 高折 恭一

長浜市は、秀吉が長浜城の城下町として整備し、琵琶湖水運の要衝として発展してきた風光明媚な地域です。隣接する米原市とともに、琵琶湖の北東部を占める人口約16万人の湖北保健医療圏を形成しています。新幹線を使えば京阪神へのアクセスは非常に良好です。



市立長浜病院は湖北保健医療圏の基幹病院で、高度急性期から、急性期、回復期、慢性期の患者すべてに対応しています。地域がん診療連携病院に指定されており、専門的ながん治療を提供する一方、滋賀県で初めて脳卒中ケアユニット(SCU)を設置して救急診療にも注力しており、多種多様な疾患を診ることができます。研修医の自主性を重んじた研修プログラムを組んでおり、地域医療・在宅医療を含めて幅広く学ぶことができます。

研修の2年間で特に学んでほしいことは、医療人としての基本となる、メディカルスタッフとの協調性と患者さんに対する誠実性、そして謙虚に反省して明日の成長へとつなげることができる能力です。

研修医の皆さんが、当院に新たなエネルギーを吹き込んでくれることを期待しています。

研修医 渡邊 重之

昨年4月に長浜に移り、当院での研修生活が始まって既に一年が経ちました。右も左も分からない状態からスタートし、様々なメディカルスタッフの皆様のご指導の下、少しでもこの地域医療に貢献できるように日々研鑽を積んできました。



この一年間の研修医生活で感じた当院における研修のメリットは、研修医の要望に対して出来るだけ柔軟に対応してもらえることです。これにより研修医は自らの進路と十分に向き合うことのできるカリキュラムで研修することができます。また、当院以外に長浜赤十字病院・彦根市立病院・近江八幡市立総合医療センター等で研修をする機会があるため、普段と異なる環境で手技や医学的知識を学んだり、他病院の研修医と情報を交換し合うなど貴重な繋がりを持つことも出来ます。さらに、長浜は古くからの交通の要所ということもあり、週末や連休などに新幹線を使えば大阪・京都や名古屋にもアクセスしやすいという立地もメリットになると思います。是非一度、見学に来て頂ければと思います。

何事にも協調して誠実に取り組み、  
元気な病院を築ける方を求めます

救急医療と、全人的なプライマリ・  
ケアを重視した研修ができます

## 研修プログラムの目的、特徴

### 【目的】

“医の原点”とも言うべき救急医療と、全人的なプライマリ・ケアを重視した初期研修の場の提供と人材育成

### 【特徴】

- 1年目は基本研修科目とし、救急医療とプライマリ・ケアに必要な知識と技術の習得を重視した研修を行います。
- 選択科目(最長11か月)は原則として基本研修科目、必修研修科目をさらに深く研修するため、または研修が不十分と判断された科目の再履修にあてます。ただし、希望があれば、他の専門領域の選択も可能となり、自主プログラミングをすることで、研修医の自主性を尊重できる研修を実施しています。

- 選択科目においては、希望する診療科、研修期間など、研修医の将来の希望に応じた研修スケジュールを最大限尊重するように組んでおり、自由度が高いと同時に、自主性を重視しています。
- 月4回程度の宿日直研修では、研修医が担当する割合が大きく実践的な研修を行えるなかにも、上級医の監督・指導の下(2年目研修医はファーストコールを任せられる)で知識や手技を的確に習得できます。
- 地域の基幹病院としての充実した設備の下、多彩な選択領域のなかで幅広い症例や疾患を経験することができます。
- 研修医教育のための勉強会を多数用意。院外講師(総合診療医)を招くなど、スキルアップを目的とした多彩な研修会を通じて、自己研鑽を奨励します。

## 研修スケジュール例

1 年目	24週	12週	4週	4週	4週	4週
	内科	救急 ※1	外科	小児科	産婦人科	精神科
2 年目	4週	48週				
	地域医療	選択科目 ※2				

※1 4週まで麻酔科可。

※2 外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療は8週以上が望ましい。一般外来4週以上を含む(8週以上が望ましい)。

## 研修協力病院、研修協力施設

セフィロト病院(精神科)、滋賀医科大学医学部附属病院、長浜赤十字病院、湖北保健圏域の診療所、近江八幡市立総合医療センター、彦根市立病院

## 募集要項

- [募集人数] 6人
- [試験日程] 第1回 令和5年8月7日(月)、第2回 令和5年8月10日(木)  
くわしくはホームページにてお知らせします
- [選考方法] 面接
- [処遇] 1年次466,000円/月[年収約560万円]  
2年次650,000円/月[年収約780万円]  
\*年収ベースで月額に換算し、月額には諸手当(通勤手当、時間外勤務手当、期末手当(賞与))、家賃負担分を含む
- [社会保険] 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- [宿舎] 2LDKアパート(自己負担額:20,000円)、一戸建てあり

### 育児支援の取組

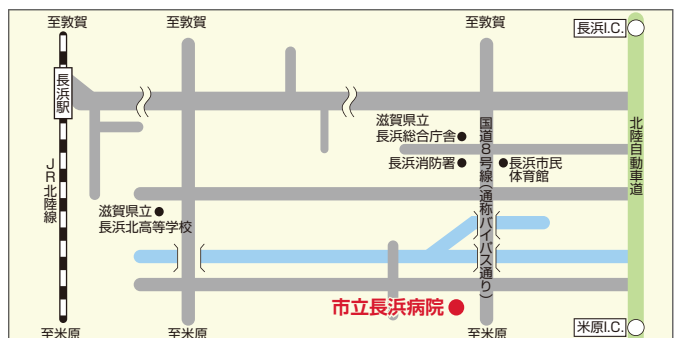
- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和
- など



## 応募連絡先

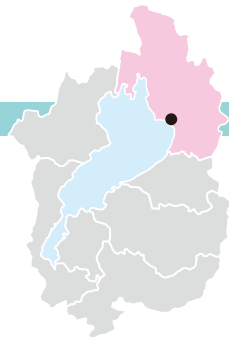
### 市立長浜病院

- [所在地] 長浜市大成亥町313  
● J R長浜駅 バス10分  
● 北陸自動車道 長浜、米原IC 10分
- [担当部署] 総務課
- [電話] 0749-68-2324
- [FAX] 0749-65-1259
- [E-mail] nch-soumu@city.nagahama.lg.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病院 大津赤十字
- ③ 滋賀医科大学 附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会 滋賀県病院
- ⑧ 公立 甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立 総合医療センター
- ⑩ 東近江総合 医療センター
- ⑪ 彦根市立 病院
- ⑫ 市立長浜 病院
- ⑬ 長浜赤十字 病院
- ⑭ 高島市立 市民病院

# 13 長浜赤十字病院



所在地 長浜市宮前町14-7  
 開設者 日本赤十字社  
 開設年月日 昭和7年4月6日  
 病院長 楠井 隆

 <b>病床数</b> <b>492床</b>	 <b>外来患者数</b> <b>1001人</b> <small>(1日平均)</small>	 <b>入院患者数</b> <b>370人</b> <small>(1日平均)</small>
 <b>医師数</b> <b>83人</b> <small>男性68人 女性15人</small>	 <b>指導医数</b> <b>39人</b>	 <b>臨床研修医数</b> <b>9人</b> <small>男性6人 女性3人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					放射線科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

院長 楠井 隆

当院は500床程度の病床を有しますが、研修医は各学年4名(他に大学プログラムからの1年次のみ1名程度あり)と少人数で、症例、指導者いずれの点でも密度の濃い研修が可能です。救急当直は決して楽ではありませんが、各診療科の相互協力は密で、お互いが各々の専門性を持ち寄って診療に当たる家族的な雰囲気があります。実際、時間帯によっては自分の専門範囲の重症例が来院している時に相談する前から救急センターに来てくれる医師も少なくありません。家族的な雰囲気は看護師を始め他の職種も同様で、これらの中にも研修医教育に熱心なものがたくさんあります。地域医師会などとの交流の場も多く、他職種を含めた連携を学ぶには最適の環境だと思えます。

地域の特色としては、夏は琵琶湖の、冬はスキーなどと自然にふれあう楽しみがあり、歴史上の名所も点在するなど余暇も楽しめます。都会の大病院とは違った魅力のある当院で医師人生を始めてみませんか？



研修医 宮田 涼雅

長浜赤十字病院は、「日赤」であるため救急医療・災害医療に熱心に取り組んでいます。

研修医は原則週1回のセンター当直が義務付けされていますが、内科・外科・小児科の中で選ぶ事が出来ます。

更に、どの科であっても必ず診察時には上級医が一人ついて、研修医の問診・選んだ検査や処方についてその場でアセスメントとフィードバックを行う事が出来ます。

災害医療では、日頃からBLSやACLS受講を推奨しており、受講にあたって病院より補助金が出ます。又、大規模災害訓練や救護班訓練を行い、「もしも」の時に対し常に備えています。

滋賀県北部に位置する地方病院ですが、その分アットホームで、医師間・医師・コメディカル間の距離が近く、互いの得意分野を学び学ばれる事の出来る病院です。是非一度、当院にお越し頂き雰囲気を見学してみてください。歓迎します。



# 病 気のみではなく患者を診る全人的医療を目指す研修医を求めます

# 救 急をはじめ豊富な症例や院内外での多様な連携を学ぶことができます

## 研修プログラムの目的、特徴

医師として必要な診療に関する基本的知識を中心に臨床検査、治療法を学び病者に対するやさしい全人的な応接ができるような研修を目的とします。また、救急科の実習によりプライマリ・ケアが十分できるような研修医を養成します。

救命救急センターでの研修では指導医とともに行なう

副直にてファーストタッチの診療に当たるなどプライマリ・ケアの要点を網羅するような経験が可能です。豊富な症例の割に研修医の数が少なく、診断・治療のあらゆる場面で主体的に参加することが求められています。精神科を併設しており、精神疾患のみならず他疾患での精神的問題のケアも学べます。

プログラム名	1年目	2年目	募集人数
臨床研修プログラム	長浜赤十字病院	長浜赤十字病院等48週、地域医療研修4週	5人

## 研修スケジュール例

1年目	1週	31週				8週	4週	8週
	テオリエンテーション	内科				救急科 ※1	麻酔科	小児科
2年目	4週	4週	4週	4週	36週			
	外科	精神科	産婦人科	地域医療	将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修 ※2			

※1 救急部門は、救急部(救命救急センター)4週、救急麻酔4週に救命救急センター当直(週1回)を加え、計12週とする。  
 ※2 糖尿病・内分泌内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科、地域保健より選択。

## 研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、市立長浜病院、長浜保健所、雨森医院、浅井東診療所、橋本医院、地域包括ケアセンターいぶぎ、東近江市永源寺診療所、米原市地域包括医療福祉センター近江診療所、にしあざい診療所、弓削メディカルクリニック

## 募集要項

- [応募資格] 令和6年3月に大学の医学部又は医科大学を卒業見込の者で、医師免許を取得見込の者
- [募集人数] 5人
- [試験日程] 令和5年8月中に3回程度実施
- [選考方法] 面接、小論文
- [処遇] (身分) 常勤嘱託職員  
 (給与) 1年次:330,000円/月 2年次:380,000円/月  
 (賞与) 各年次:700,000円/年  
 (社会保険) 健康保険、厚生年金保険、企業年金基金、労災保険、雇用保険加入  
 (手当) 通勤手当、扶養手当、住居手当、日当直手当、時間外手当

### 育児支援の取組

- ・時間外勤務免除、緩和
- ・宿直の免除、緩和
- ・日直の免除、緩和(要相談)
- など



## 応募連絡先

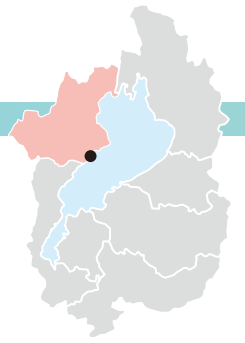
### 長浜赤十字病院

- [所在地] 長浜市宮前町14-7
  - JR長浜駅 バス6分
  - 北陸自動車道 長浜IC 8分
- [担当部署] 人事課 古橋 達也
- [電話] 0749-63-2111
- [FAX] 0749-63-2119
- [E-mail] resident@nagahama.jrc.or.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大病津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立近江八幡診療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立彦根病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

# 14 高島市民病院



所在地 高島市勝野1667  
 開設者 高島市長  
 開設年月日 平成17年1月1日  
 病院長 武田 佳久

<b>病床数</b> <b>210床</b>	<b>外来患者数</b> <b>393人</b> <small>(1日平均)</small>	<b>入院患者数</b> <b>152人</b> <small>(1日平均)</small>
<b>医師数</b> <b>31人</b> <small>男性28人 女性3人</small>	<b>指導医数</b> <b>15人</b>	<b>臨床研修医数</b> <b>5人</b> <small>男性4人 女性1人</small>

<b>基本19領域診療科目</b>	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科
整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科
					総合診療

## 病院の / アピールポイント

指導医 高橋 有和

当院の歴史は昭和25年に開設された診療所から始まっており、市民には大変身近な存在と認識されています。5万人に満たない人口ですが、高島市内で発生した救急搬送症例の90%以上が当院に搬送されます。高島市の高齢化率は約37%と県内随一の高齢化地域です。高齢患者さんはcommon diseaseの合併も多く、幅広い疾患知識が必要となってきます。また、高齢者は生体防御力が低下しており重症化しやすい状態にあります。そのため、若年者と比べて、疾患治療の際にはより厳密な全身管理を要します。慢性期疾患のみならず、急性期治療に関しても学ぶことができます。

高度医療機関での治療を終えた患者さんを受け入れ、当院で診療を継続することもあります。退院に向けて必要な場合には、自宅環境の整備や地域の医療福祉サービスの導入を行います。急性期以降の経過も経験することで、患者さんの全人的な理解がより深まります。

当院は210床と臨床研修病院としては最小規模の施設です。医療スタッフや事務職員とも大変近い関係にあり、病院全体で臨床研修を応援しています。

このような特徴のある環境が、医師のスタート地点として有意義であると確信しています。



研修医 木槍 周

高島市民病院は病床数210床と研修指定病院としては小規模ですが、湖西地域唯一の総合病院として急性期医療と地域医療の中核を担っています。common diseaseのみならず幅広い症例について、救急医療のfirst touchから経験させて頂くことができます。その後の急性期治療を経て、退院、転院まで多職種と連携して関わる事が可能です。

高島市民病院の研修の特徴はやはりその小規模さかと考えています。セミナーやカンファレンスの頻度については大きな病院には敵わないかもしれませんが、研修医の人数が少ないこともあり個人の状況に合わせて対応して頂いていると感じています。上級医の先生だけでなく他の職種の方々にも研修医の名前や顔を覚えてくださり、色々と配慮して頂いた場面が多くありました。またこじんまりとした医局はローテートし終わった科やこれからの科の先生にも気軽に質問ができる環境になっています。

高島市民病院での研修があっていると思う方はぜひ一度見学にいらして、実際に雰囲気を感じてみてください。



**病**める人に寄り添う心と向上心を  
持った熱意ある研修医を求めます

**将**来のキャリア形成の土台となる  
幅広い診療能力の習得ができます

### 研修プログラムの目的、特徴

【内科】全人的医療の概念のもと、内科医師として内科関連疾患の診断・治療に関する基礎知識・技能・態度を修得します。

【救急診療】全ての臨床医に求められる救急患者の初期治療に関する基本的な知識・技能・態度を修得します。

【外科、麻酔】医の倫理に則し、外科疾患に対する基礎的な知識と診断能力・技能・態度を修得します。

【小児科】地域の中核病院としての診療に関わる中で、小児科診療全般に通ずる基本的知識・技能・態度を修得します。患児やご家族の気持ちを理解し配慮しながら診療にあたる態度を身につけます。自主的かつ積極的に学ぶ姿勢と、常に自らを見直す姿勢を身につけます。

【産婦人科】女性特有の疾患による救急医療、プライマリ・ケアを修得します。また、妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を修得します。

【精神科、神経科】精神疾患を生物学的視点、心理学的視点および社会的視点から総合的にとらえることのできる医師になることを目標として、基本的な精神疾患の診断、治療および予防に必要な技術と知識を修得します。

【地域医療】へき地診療を経験することで地域のニーズに合った地域診療、特にプライマリ・ケア、老人福祉医療を理解します。

### 研修スケジュール例

1 年目	28週		4週	4週	4週	12週
	内科		小児科	外科	産婦人科	救急
2 年目	4週	4週	44週			
	地域医療	精神科	選択研修 ※ (内科、外科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、精神科、泌尿器科、総合診療科から選択) ※選択研修中に到達目標に達していない項目について随時実施する。			

### 研修協力病院、研修協力施設

滋賀医科大学医学部附属病院、大津赤十字病院、医療法人藤樹会滋賀里病院、医療法人明和会琵琶湖病院、高島市民病院朽木診療所、高島市民病院平良出張診療所、高島市民病院針畑診療所、介護老人保健施設陽光の里、高島市訪問看護ステーション

### 募集要項

- 【応募資格】 令和6年3月に大学医学部または医科大学を卒業見込の者で医師免許取得見込の者
- 【募集人数】 3人
- 【選考方法】 面接
- 【処遇】 会計年度任用職員(1年毎の更新)  
1年次480,000円/月、2年次530,000円/月(年収ベースで計算し月額に換算)  
(社会保険)健康保険・厚生年金保険・労災保険・雇用保険加入  
(休暇)有給休暇10日、夏期休暇3日、年末年始  
(宿舎)世帯用マンションあり

#### 育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正社員制度
- ・時間外勤務免除、緩和(要相談)
- ・宿直の免除、緩和(要相談)
- ・日直の免除、緩和(要相談)

など

### 応募連絡先

#### 高島市民病院

- 【所在地】 高島市勝野1667  
● JR近江高島駅 徒歩1分  
\* 琵琶湖西縦貫 国道161号線を北進
- 【担当部署】 病院総務課 臨床研修担当 衣川
- 【電話】 0740-36-8156
- 【FAX】 0740-36-8058
- 【E-mail】 takashima-hp@city.takashima.lg.jp



- ① 市立大津市民病院
- ② 大津赤十字病院
- ③ 滋賀医科大学附属病院
- ④ JCHO 滋賀病院
- ⑤ 淡海医療センター
- ⑥ 滋賀県立総合病院
- ⑦ 済生会滋賀県病院
- ⑧ 公立甲賀病院
- ⑨ 近江八幡市立総合医療センター
- ⑩ 東近江総合医療センター
- ⑪ 彦根市立病院
- ⑫ 市立長浜病院
- ⑬ 長浜赤十字病院
- ⑭ 高島市民病院

## 充実のサポート体制

### ■滋賀県医師キャリアサポートセンター

医師・医学生等からの就業や研修、キャリアアップに関する相談や、女性医師の復職支援などが相談できる総合窓口を設置し、研修医のみさんのキャリアをサポート。



### ■研修医および若手医師のためのフォーラム

滋賀県病院協会が主催し、研修医や若手医師の皆さんが滋賀でキャリアを築いていただく契機となるよう、専門的な研修会を実施。



#### 昨年度の開催内容

##### セッション：

「臨床研修をうまく乗り切るための  
若手医師たちが語る経験談」

講演：「救急診療のポイントとピットフォール」

### ■WATCH in Shiga (Welcome and Training Conference Held in Shiga)

滋賀県医師会が主催する、1年目臨床研修医を対象とした研修会。「先輩医師が後輩医師を育てる」という理念のもと、グループワークや意見交換会を実施。昨年度はコロナ禍のためオンラインで開催。



WATCH in Shiga グループワーク



### シガリズム ～心ととのう滋賀・びわ湖のたび～

琵琶湖を始めとした自然と歩みをそそえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らしを体感する心のリズムを整える新たな旅の提案♪

<https://shigarhythm.biwako-visitors.jp/>



### 滋賀ぐらし ～ほどほど田舎 ほどほど都会～

豊かな自然、便利な環境。“豊か”の源泉が多くある滋賀。人は、“気づく”たびに、気づいた人から豊かになっていく滋賀ぐらし、始めています。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/iju/index.html>



## 問い合わせ先

滋賀県健康医療福祉部医療政策課（滋賀県医師キャリアサポートセンター）

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1（滋賀県庁）

TEL 077-528-3613

E-mail ef00070@pref.shiga.lg.jp

FAX 077-528-4859